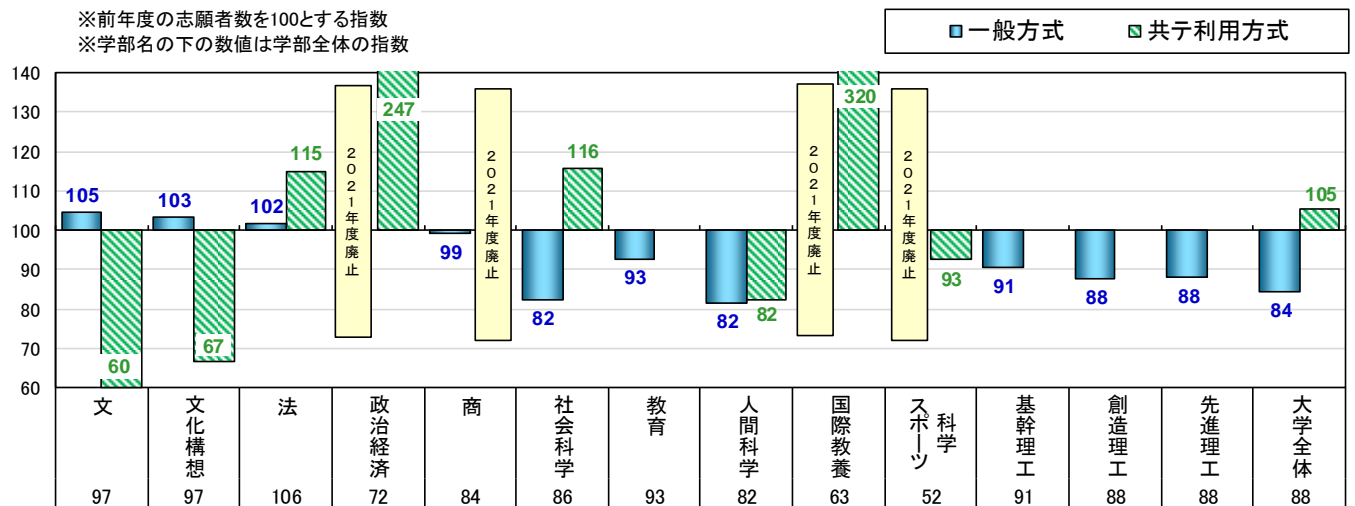


2021年度入試状況分析【私立大】

早稲田大：大学全体では3年連続減少、特に一般が15%以上も減少 一般：-13,789人 共テ：+872人



入試変更点

選抜方法：出願要件として、「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験の提出を求める ※得点化はしない
 文<セ・センターのみ>…実施→廃止
 文化構想<セ・センターのみ>…実施→廃止
 政治経済…<一般>→<共テ併用> (<共テ>国+数①+外+(歴公 or 数② or 理 or 理基2) + <個>総合問題(日英両言語を含む長文読解)
 商<一般>…<一般>→<一般>地歴・公民型、数学型、英語4技能型
 一般・地歴・公民型：募集人員 355人…国+歴公+外
 一般・数学型：募集人員 150人…国+数+外
 一般・英語4技能型：募集人員 30人…国+外+(歴公 or 数)
 ※英語外部試験…英検、TOEFL iBT(出願要件、得点加算)
 商<セ>…実施→廃止
 国際教養…<一般>→<共テ併用>、英語外部試験 英検、TOEFL iBT→英検、TOEFL iBT、IELTS
 国際教養<セ・センターのみ>…実施→廃止
 スポーツ科学<一般>、<セ>→<共テ併用・一般A群>、<共テ併用・一般B群>、<共テ併用・一般C群>
 募集人員：政治経済(経済)…<一般>200人、<セ>35人→<共テ併用>140人、<共テ>25人
 政治経済(政治)…<一般>150人、<セ>25人→<共テ併用>100人、<共テ>15人
 政治経済(国際政治経済)…<一般>100人、<セ>15人→<共テ併用>60人、<共テ>10人
 国際教養…<一般>150人→<共テ併用>175人
 スポーツ科学…<一般>100人、<セ+一般>50人→<共テ併用>150人 (<共テ>外+(国 or 数) <個>論)
 入試科目：社会科学<一般>…国+外+(歴公 or 数) ※歴公：世Bor日Bor政経→国+外+(歴 or 数) ※歴：世Bor日B
 人間科学<一般・文系>…国+外+(歴公 or 数) ※歴公：世Bor日Bor政経→国+外+(歴 or 数) ※歴：世Bor日B
 スポーツ科学<共テ併用・競技歴>…外+調+(国 or 歴公 or 数 or 理 or 理基2)→2
 →外+調+(国 or 数)+(国 or 歴公 or 数 or 理 or 理基2) ※同一教科選択不可
 スポーツ科学<共テ>…国+数+外+(歴公 or 理 or 理基2) ※数：数① or 数②→国+数+外+(歴公 or 理 or 理基2) ※数：数①

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、12,917人(88)の減少で3年連続減少した結果、志願者数は10万人を下回った。これは、手元にデータがある1970年度入試以降では初めて。コロナ禍の中で地方から首都圏の大学を敬遠する傾向、最難関大を敬遠する傾向などが影響。さらに、コロナ禍による情報発信が難しかったことで入試方式変更への理解が深まらなかったことも影響。方式別では、一般方式(84)は政治経済、国際教養、スポーツ科学が共通テスト利用方式のみに変更したこともあって、15%を超える大幅減少で3年連続減少。これらの3学部を除いても(94)の減少。共通テスト利用方式(105)は先に述べた3学部が共通テスト利用方式のみへ変更したことで2年ぶりに増加したが、逆に商が共通テスト利用方式を廃止したこともあって、やや増加に留まった。前年度と募集方式に大きな変化がない学部では、法(115)、社会科学(116)の2学部が大幅増加。

<一般方式>

- 文(105)は、やや増加で2年連続増加。方式別では、<英語4技能>(160)が大幅増加で4年連続増加。
- 文化構想(103)は、やや増加で3年ぶりに増加。方式別では、<英語4技能>(149)が大幅増加で4年連続増加、<一般>(93)はやや減少で4年連続減少と対照的。
- 法(102)は、前年度減少の反動は小さく微増。
- 商(99)は、微減だが4年連続減少。なお、<共テ利用>を廃止したので、学部全体としては(84)の大幅減少。
- 社会科学(82)は、3年連続減少。今年度は大幅減少して、志願者数は9千人を下回った。
- 教育(93)は、やや減少で、3年連続減少。学科・専攻・専修別では、(教育/教育)(156)、(社会/地理歴史)(121)が大幅増加。一方で、(教育/生涯教育)(66)、(教育/初等教育)(74)、(理/生物学)(75)、(国語国文)(76)、(数学)(78)、(社会/公共市民学)(79)はいずれも20%を上回る大幅減少。
- 人間科学(82)は、大幅減少で3年連続減少。学科別では、(健康福祉科学)(78)、(人間環境科学)(80)がいずれも大幅減少。
- 基幹理工(91)は、前年度3年ぶりの増加から再び減少。学系別では、(学系 I)(85)は2年連続増加の反動で、(学系 II)(85)も前年度増加の反動で、いずれも大幅減少。一方で、(学系 III)(122)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。

2021 年度入試状況分析【私立大】

- 創造理工(88)**は4年連続減少。学科別では、(総合機械理工)(101)、(社会環境工)(99)が前年度並だった以外は減少で、特に、(環境資源工)(62)、(経営システム工)(82)は大幅減少。
- 先進理工(88)**は、減少で6年連続減少。学科別では、増加した学科はなく、(応用物理)(79)、(生命医科)(79)、(化学・生命化)(84)が大幅減少。

〈共通テスト利用方式〉

- 文(60)**は、大幅減少で4年ぶりに減少。方式別では、〈+一般〉(113)は増加で2年連続増加だったが、前年度志願者数1,000人だった〈共テのみ〉を廃止した影響が大きかった。
- 文化構想(67)**は、大幅減少で3年連続減少。方式別では、〈+一般〉(114)は3年ぶりに増加したが、前年度志願者数835人だった〈共テのみ〉を廃止した影響が大きかった。
- 法(115)**は、前年度の大幅減少の反動で大幅増加。
- 政治経済(247)**は、全ての募集単位で共通テストを利用する方式に変更したことで、志願者数は2.5倍近く増加した。従来からある〈共テのみ〉(95)はやや減少だったが、新たに導入された〈共テ併用〉は志願者数3,495人だった。この志願者数は前年度の〈一般方式〉と比較すると(63)の大幅減少だった。募集人員の減少、共通テストの負担増、学部独自試験として導入された記述式問題への敬遠などの影響が大きかった。
- 社会科学(116)**は、前年度大幅減少の反動により大幅増加。前年度の増減による反動が続いた。
- 国際教養(320)**は、全ての募集単位で共通テストを利用する方式に変更したことで、志願者数は3.2倍に増加した。なお、〈一般方式〉を廃止したため、学部全体では(63)の大幅減少。共通テストと学部独自試験の2つの受験が必要となり負担増となった影響は大きかった。
- スポーツ科学(93)**は、やや減少で3年連続減少。方式別では、全ての方式で減少。特に〈競技歴〉は4年連続減少。さらに、〈一般方式〉を廃止したため、学部全体では(52)の半減近い減少。